

1. 趣旨

平成の名水百選に選ばれた阿多古川源流域にある熊地区では、特定非営利活動法人夢未来くんま（以下、夢未来くんま）が運営する「水車の里」を中心に地域の活性化を図るべく、長年活動が続けられてきました。また、2020年には夢未来くんまの新たな事業として「健康長寿の邑くんま」と名付けた活動を始め、中山間地域と都市部の交流人口を増やす試みに着手しました。しかし、こうした活動も地域課題の根源にある生産年齢人口の減少に歯止めをかける事は出来ず、多岐にわたる地域課題の解決への直接的効果を上げる取組が求められていました。

こうした中、2021年4月の「くんまの明日を語る会」（浜松市学習成果活動）にて保育環境整備の提案がなされました。具体的には、幼稚園入園前の幼児保育や幼少の放課後の居場所の提供など、安心して子育てのできる環境があれば、豊かな自然の中で子育てしたいと考える人達の移住先の選択肢になり、更に、地域に生まれ育った若者世代が子育て環境が無いために転出することを防ぐことになるというものです。

また、保育環境整備と合わせて、子育てできる住まいについても、個々の需要に合わせた空家と空地の情報を整理する事と、余暇時間に働くことのできる場所を新たに生み出す事が、移住と定住の促進につながる重要な要素として取り組まなければならないという事です。

このようにして、人口流入を図るとともに人口流出に歯止めをかけたいとする、保育・住まい・働く場所の3つの課題を包摂的に解決する事業構想が浮上してきました。

この事業で重要な事は、地域を大切に思う方達の賛同と共感を得て、まだ僅かに残された地域資源を集中させていく為の事業の公共性です。更に、長く未使用になった土地・建物の活用をする事で、ここに暮らす人達目の変化の兆しを見せて、地域の意識を変えていく事です。

私達はこの特定非営利活動法人の名称を「耕」（こう）とし、中山間地域を耕したいという意思をこの1文字に託しました。「耕」という意味は文字通り大地を耕す事ですが、英文字に訳すとcultivateになり、cultは耕すという意味で、カルチャー（culture）という文化を表す言葉が生まれますが、それには「心を耕す」という意味があるそうです。私たちは、この活動にたずさわる事で、私たち自身の心を耕す事ができる機会に恵まれました。純粹に耕すという行為に没頭する事で無心になり、心が解放される喜びや楽しみを、この活動に賛同される皆さんと共に実感したいと思っています。こうした思いを「地域を耕し、暮らしを耕し、心を耕す」という意義に託して「耕」と呼ぶ様にしました。

「耕」の活動は、中山間地域と都市部に暮らす人達が一体となり、自然の中での様々な営みの意義と価値を再認識するきっかけを作り、次の世代に繋げて未来を育みます。この活動は、地域の活性化や地域力の向上に直接的に貢献するだけでなく、この事業に関わる全ての方達に身体的・精神的な価値ある満足感を得る機会を提供します。私達は、この活動をより多くの方達との関わりの中で実践していく為に、特定非営利活動法人を設立するものです。

2. 経緯

2021年4月	浜松市学習成果活動「くんまの明日を語る会」にて保育環境整備の提案
2021年5月	保育環境整備の実現について有志による調査勉強会が始まる
2021年12月	調査勉強の成果を「くんま明日を語る会」にて共有し特定非営利活動法人設立の承認を得る（設立説明会）
2022年2月	特定非営利活動法人 耕 設立準備会開催
2022年3月	特定非営利活動法人 耕 設立総会開催
2022年3月	特定非営利活動法人 耕 申請

2022年3月17日

特定非営利活動法人の名称 耕

住所又は居所 浜松市天竜区神沢5 5 5

氏名 藤原 博俊

印